

初代オーナー必見! 約22万km走行のエンジンの中身

2021年9月10日発行・発売(3・6・9・12月の毎10日発行・発売)

第13巻4号通巻85号

ザッカー | 86&BRZマガジン

X2CAR 86 & BRZ magazine

033

2021 Autumn
[10月号]

購入する前にチェックしたい! **GR 86**と**BRZ**

何が違うの?



機能性重視で選ぶ

実力派エアロパーツ

注目のパーツをピックアップ

初代86&BRZチューニング術

ついに発売スタート!

新型BRZ

Aut Messe Web
<https://www.automesseweb.jp>

初代86&BRZ 厳選チューニングメニュー



織戸学 選手



織戸茉彩 選手

ブリッドシートの良さを熟知している織戸 学選手と、今年からヤリスカップに挑戦している次女の茉彩選手。普段から練習も兼ねてフルバケットシートに座ることが多いという茉彩選手はガイアスⅢのホールド感が良いという。ただ、乗降性を考えるとストラディアⅢが魅力的だと話してくれた



ブリッドシートの秘密が見れる！ BRIDE CHANNELは必見だ

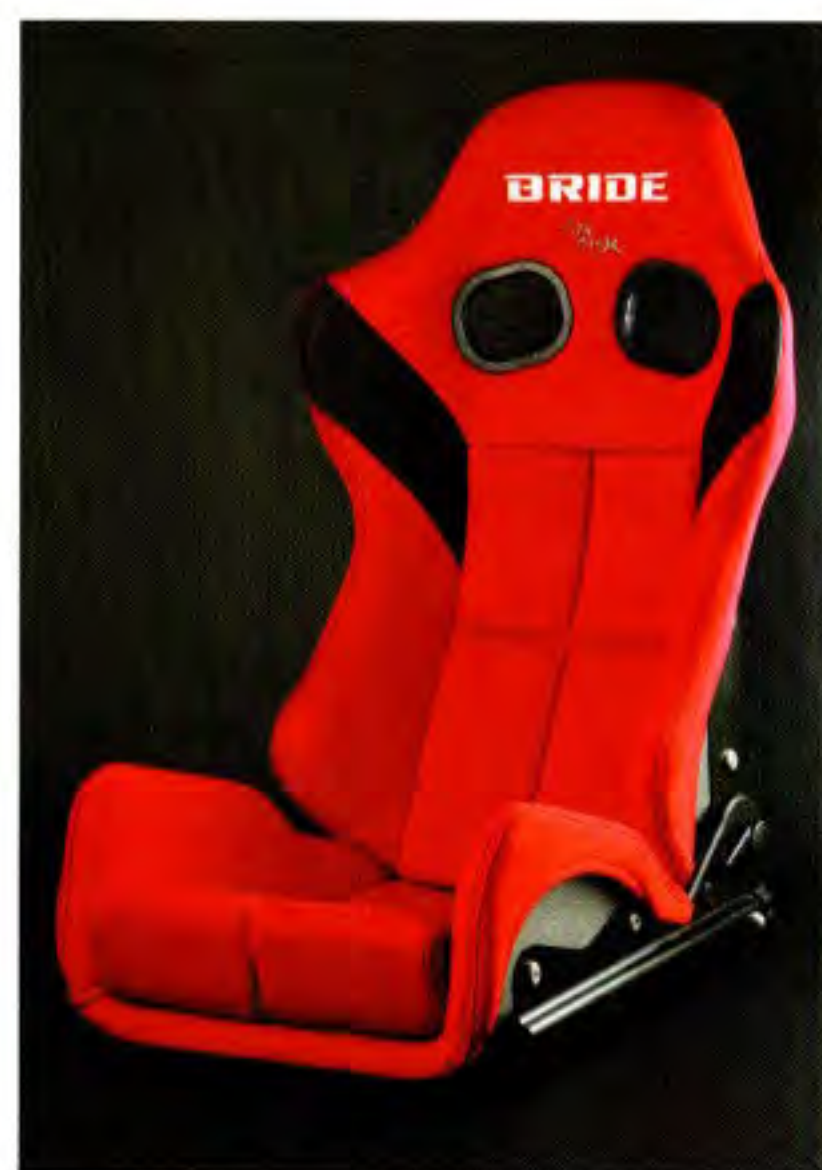
ブリッドのYouTubeチャンネルでは、これまで明かされることがなかったBRIDEシートの開発・設計・製造工場のレポートがアップされている。日本製にこだわったハイレベルな製造の過程は必見である

BRIDE

織戸親子が86で 最新ブリッドシートをチェック！

問)ブリッド
☎052-689-2611
<https://bride-jp.com/>

写真●水川尚由
取材協力●モーターランド鈴鹿



GIASⅢ PROTOTYPE

まもなく発売される予定のガイアスⅢをいち早くテスト。より高いホールド性と、使い勝手が良くなった新開発のリクライニング機構を採用。フルバケットシートに匹敵するホールド性が魅力となっている

最強のリクライニング式 バケットシートが誕生した

レーシングドライバーの織戸 学さんがブリッドの新作シートを86でテストするというので、モーターランド鈴鹿で行われたテスト現場に潜入させてもらった。新作シートというのは、リクライニング式バケットシートの名作「ガイアスⅢ（プロトタイプ）」であった。

「今回テストするのは、既に発売されているストラディアⅢと前作Ⅱ。

そして試作モデルのガイアスⅢと前作Ⅱになります。いずれもリクライニングが可能なスポーツシートという点で人気があります。僕の86にも運転席側にはガイアスⅡ、助手席側にはストラディアⅢを装着しています。今回のトピックは、ガイアスⅢのプロトタイプを試乗できるということ。僕にとっては、すごく馴染み深いシートなのでジックリ検証していこうと思っています」という織戸さん。レースではフルバケットシートを使用するが、普段使いのクルマにはリクライニング式シートを愛用しているということだ。

今回は、サーキットでテストを行ったが、リクライニング式シートの場合、とくにストリート（悪路も含めてさまざまな路面）も含めて色々なシーンでテストされるという。今回は、先日ヤリスカップでレースデビューしたばかりの次女の茉彩さんもテストに参加。女性目線でのスポーツシートに対するコメントをもらうことができた。

ガイアスⅢは、2022年に開催される東京オートサロンぐらにデビューする予定ということだ。ストリート最強のリクライニング式バケットシートの实力を見ていくことにしよう。

高いスポーツ性能と リクライニング機構が魅力

GIAS III

プロトタイプ 近日発売

ブラッシュアップしたモノコックシェルと新設計フレームにより、さらに高剛性に進化したガイアスIII。新設計のリクライニング機構を採用することで、フルバケットシートに匹敵する剛性とホールド性を持ちながら、ストリートでの使い勝手も考えられたセミバケットシートになっている

レバー式リクライニングで
快適性が大幅に向上した

「ストラディアIIIと比べると、肩と腿のホールド感がガイアスIIIのほうがしっかりしている。ガイアスIIと比べると、ホールド感自体は、大差はないんだけど、剛性が上がったと思う。リクライニング機構が進化して、レバー式になったので、背面の角度調整がラクになった。これはス

トリートでは有り難い」と織戸さん。ガイアスIIIも腿のクッションがスタンダードとローが選べるようになっていて、今回はスタンダードでテスト。発泡モールドウレタンを採用したクッション性についても高く評価された。「シートの性能って、骨格となる部分が大事なんだけどクッションの性能も非常にフィーリングに影響する。Gがそこまでかからない街中だと感じづらくいけど、サーキットだと確実にその進化を体感できるね」と大絶賛であった。

茉彩さんは「コーナー時に肩のホールド感を感じることができました。ハイポジションアシストパッドを入れてもらったら、快適に運転することができました」とのことだ。



高剛性のモノコックシェルを採用しているガイアスIII。プロトタイプは、FRP製シルバースhellとなっていた



「太腿と肩のホールド感がフルバケットシートに匹敵する。これでワンタッチでリクライニングができるのだから、86&BRZユーザーにはピッタリのシートだね」と織戸さん



「ガイアスIIIは、座面が深いのでハイボジアジャストパッドを装着して座りました。フルバケットシートに近い安心感があって、コーナーでも身体をゆだねられました」と茉彩さん



スタンダードクッションとローの2種類のクッションを選べるので、ドライバーのフィーリングに合わせてチョイスしたい



太腿のホールド性が高くなっているガイアスIII。左右のGがかかってもドライバーは運転に集中できる



GIAS II

販売終了

「ホールド感については、ガイアスIIIと大きな差はないが、リクライニング機構がダイヤル式かレバー式というのが大きな差だね。ストリートでの使い勝手を考えたら、圧倒的にIIIのレバー式がいい」と、織戸さん



左がストラディアIIIの座面下ホール、右がガイアスIIIの座面下ホール。ニーズに合わせて少し穴のサイズが小さくなった



新開発されたリクライニング機構は、角度調節もレバーのワンタッチ操作で可能にする。後席への乗降もラクだ



乗降性まで考えた リクライニング式バケットシート

STRADIA III

20万3500~26万4000円

リクライニング機構付きバケットシートがさらなる進化を遂げた。剛性と強度にコンフォート性も高めた万能シート。ストリート中心で使う人にジャストフィットするモデル

街中からサーキットまで
幅広く使える万能シート

「太腿のホールドが小さいので、乗り降りがラクなストラディアⅢ。ⅡからⅢへの進化でリクライニング機構が進化してレバー式になった。本格的なサーキットというよりは、ストリート中心で、ときどきサーキットという人に向いている。Ⅱと比べて圧倒的に剛性感は高くなっているし、必要最小限なホールド感もある。ある意味万能なスポーツシートと言えるね。僕は86の助手席に装着しているけど、ちよつともったいないかな。それぐらい高性能なシートだと思う」という織戸さん。

新設計のモノコック構造のボディ

シエルを採用している、フレームの耐荷重強度は200%、ねじれ強度は40%、バックレスト前突強度は15%アップしている。リクライニング機構もよりコンパクトな新設計となり、背面の角度調整もレバーのワンタッチ操作で可能になった。「ハイポジションアジャストパッドを入れると、腿のホールド感が小さくなってしまつて、サーキットだと物足りなさがあります。でも乗り降りのしやすさはガイアスⅢよりも良いですね」と茉彩さん。



「ガイアスⅢと比べると、肩の張り出しも太腿のホールドも小さめ。でも乗り降りのしやすさは純正シートと大差ないね。包み込む感じはフルバケと同等だから、こういうシートを求めているという人は多いんじゃないかな」と、織戸さん



座面には、モータースポーツとサーキット走行に必須の6点式ハーネス用ホールが新設されている



FRP製シルバーシェルとスーパーアラミド製ブラックシェル（写真）をラインアップ。スチールフレームを採用し、高剛性を実現している



小型で剛性、強度、操作性が高められた新設計のサイドレバー式リクライニング機構。バケットシートとは思えないほど簡単に背面の角度調整を可能にする



ピストン西沢 | 新型 GR 86でブリッドシートの重要性を体感!

GR 86 の純正シートは、一見ホールド性が高く見えるシートなんだけど、いざサーキットを走ってみると、グニャグニャでドライバーは身体を任せることができない。もしオレがGR 86を購入したら間違いなく最初にシートをBRIDEに交換するね。クスコのデモカーにはフルバケットシートXERO VSが装着されていたんだけど、クルマと一体になれる感じがした。間違いなくタイムアップにも影響すると思うよ。スポーツ走行するのなら、まずはBRIDEシートを装着する。これは間違いなくオススメだね。

